

施設名				事業収支(円)			
庄原市ひば道後山高原荘				指定管理事業	収入	利用料金	27,291,325
指定管理者						指定管理料	26,716,861
						その他	0
株式会社BTM						収入計	54,008,186
指定期間	始	令和4年4月1日	3年間		支出	人件費	11,632,487
	終	令和7年3月31日				事業費等	41,463,572
所管課・室		西城支所 地域振興室		支出計		53,096,059	
				収支(収入-支出)		912,127	
施設の設置目的				自主事業	収入		46,485,769
この施設は、宿泊機能を有した集いの場を提供し、観光振興及び交流促進により市の活性化に資することを目的とする。					支出		44,844,744
					収支(収入-支出)		1,641,025
施設利用状況							
利用区分		単位	計画	実績		達成率	前年対比
宿泊施設利用者数		人	5,000	6,196		123.9%	110.3%
浴場施設利用者数		人	15,000	11,240		74.9%	103.4%
利用者評価							
アンケートを設置したが回答がなかったため、利用者からの聞き取り調査を実施。							
○良好とする評価							
・合宿顧客の意見は好評で、合宿に集中できる環境が整備されており、提供される食事も美味しいとの声が寄せられた。							
○要望・苦情等							
・客室浴槽の湯が止まりにくいとの苦情があり、都度修繕し対応した。また、虫(蟻、カメムシなど)が客室に入ってくるとの苦情があるため、可能な限り入らないよう努力し、張り紙を掲示するなどの対応した。							
モニタリング評価							
評価区分		評価					
施設利用状況		B					
事業収支		A					
職員配置		B					
事業実施		B					
管理運営全般		B					
施設維持管理		A					
サービス向上		A					
危機管理対策		A					
利用者評価		B					
総合評価		B					
評価理由等							
概ね適正に管理されている。							
利用者の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響や暖冬によるスキー客の減少などの外部環境が大きかった。							
宿泊部門においては、実業団チームの合宿利用がコロナ禍前の状況に戻りつつあり、今後も宿泊利用の増加が見込まれる。							
改善事項として、一般の利用者に向けた広報、利用促進にこれまで以上に注力する必要がある。							